

日本基督教団 西宮公同教会

週 報 2026. No.25

聖日礼拝

2026 年 6 月 21 日（日）午前 10 時 45 分より

司 会：児玉 道子
当 番：守屋 寛子

前 奏 奏 楽 者
黙 想 一 同
招 詞 マタイによる福音書第 11 章 28-29 節 司 会 者
主 の 祈 一 同
交 読 文 17 詩 65 篇 一 同
讃 美 歌 301 番 一 同
聖 書 ルカによる福音書第 15 章 1-32 節 司 会 者
祈 禱 司 会 者
説 教（私のいま 世界のいま）
「ともに生きるために」

古 谷 佳 之 さ ん

讃 美 歌 262 番 一 同
献 金 一 同
献金感謝 当 番
頌 栄 542 番 一 同
後 奏 奏 楽 者
報 告 司 会 者

《次週礼拝予告》
聖日礼拝
2026 年 6 月 28 日（日）午前 10 時 45 分より
聖 書：ルカによる福音書第 6 章 36-42 節
説 教（私のいま 世界のいま）
：「この大地は私たちのものである」
菅澤 邦明 牧師
交読文：18 詩 67 篇
讃美歌：191, 228
司 会：二宮百合子 当 番：児玉 道子

《諸 報 告》

【教 会】

- ◇14 日（日）は、「子どもの日・花の日合同礼拝」でした。参加した子どもたちに、大人の人たちから「ひまわり」の花と記念するカードが手渡されました。
花献金（80,400 円）と礼拝献金（12,503 円）を合わせた中から、地域の方々や子どもたちにプレゼントした花代（23,100 円）を差し引いた 50,000 円をガザのアハリー・アラブ病院支援に寄付させていただきます。詳細は、別紙にて報告させていただきます。
- ◇23 日（火）13 時より、読書会です。
◇23 日（火）15 時より、教会委員会、総合事務局会です。

【教会学校】

- ◇夏のおたよりが発行されています。後川キャンプや、須磨であそぼうなど、それぞれ定員もありますので、用紙をみてお申込みください。
- ◇7 月 4 日（土）の「ほしまつり 2026」に向けて、少しずつ準備が進められています。皆さんにお配りしている短冊に、ぜひ願い事を書いてください。当日、お持ちいただいた短冊は、大竹に飾りたいと思っています。子どもたちの夢や願い、大人の皆さんの願いも、一緒に風に揺れる素敵な笹飾りになれば嬉しいです。皆さんのご参加をお待ちしています。

《次週礼拝予告》
2026 年 6 月 28 日（日）午前 9 時より
お 話：「あめあめふれふれ」金澤 圭子
司 会：松本奈津子

【地域共同・共生支援活動・事業】

- ◇本日、礼拝後 12 時過ぎより、地域共同・共生支援活動・事業の理事会です。
- ◇子どもたちの居場所「みんなのひろば・こうどう」として、毎週水曜日、木曜日の朝 9 時 30 分～14 時まで、開催しています。興味のある方は、気軽にお尋ねください。
- ◇「こうどうぶんこ」は、毎週水曜日 15 時～です。
- ◇「まち食堂」、7 月は、16 日（木）、23 日（木）です。12 時から、お食事代 500 円。先着 20 名様です。（ご予約優先）
- ◇「エイサー隊」の練習日は、7 月 8 日（水）18 時～です。エイサー隊の仲間も募集しています。
- ◇「園芸サークル」
毎週火曜日 10 時～、伏原町の畑にて活動しています。
6 月度の「淡路ワーク」は、26 日（金）です。
畑などで、少し本格的にカボチャに取り組むことになって、3 年目です。「人間は生きものであり、自然の一部である」などと口にはしていますが、カボチャの自然も侮ることができないことを、少しばかり思い知らされています。「うどんこ病」はもちろん、雌花と雄花があって、それが「受粉」することが、簡単なようで難しかったりすること、しかしそれが、起こった時の小さなカボチャの輝きに嬉しくなったりもしています。
- ◇「アートガレーヂ」
不定期に開いているアートガレーヂですが、畑で採れた玉ねぎやジャガイモの販売を行ったりしています。また、タイミングが合えば、ポップコーンなども販売しながら、地域の方々気軽に立ち寄り、交流できる場所づくりを目指しています。

【政治・宗教思想研究会／関西神学塾】

- ◇連続講座
6 月 26 日（金）18 時～20 時
三浦耕吉郎先生
「グループホームでの自然死の看取りに、訪問看護師が果

たした重要な役割とは？」
場所は集会室で、参加費は 500 円です。

【諸集会】

- ◇25 日（木）15 時より、にしきたスクエア街づくり協議会で

【その他】

- ◇イランに対するイスラエル・アメリカの戦争が、「合意文書」を交わすことで、一旦は、「和平」になるとの事です。とっても不思議なのは、戦争を仕掛けた側がいるのに、それについて何一つ発言することなく、その一方と「同盟国」であり得ることです。たとえ「同盟」であっても、そのこと（イランに対する戦争）の是非くらいは口にしても良さそうに思えます。どうであれ、戦争は良くないのです。
- ◇パレスチナ・ガザについての報告の新しい本が出版されています。「ガザ ある戦争の物語」（著：ディーナー・ホサーム・アブールバイア／地平社、2026 年 5 月）と、「歴史学者、ガザに潜入する」（著：ジャン・ピエール・フィリュ／河出書房新社、2026 年 4 月）です。前者は、パレスチナ・ガザで生活する人の報告、後者は、2023 年 12 月から 2024 年 1 月までの 1 カ月間、ガザに潜入したフランス人の報告です。前者は、「そこが生きる場所であり、そこで目撃した事」の報告、後者の報告は、「私は目撃し、そこで生きるが必要だった」だからそこに潜入した報告です。この 2 冊についてと、パレスチナ・ガザについて、長い報告を、公同通信 6 月号の「編集後記」に書かせて頂きました。
- ◇ウクライナからモルドバに避難をしている子どもたちとお母さんを支援するための募金は、3,837,500 円（6 月 20 日現在）です。「黄色と青色のハットにのるゆっくりくん」の組み木は、107 組が売れ 235,400 円です。合計額は、**4,072,900 円**です。2025 年 7 月 11 日に 12 回目のモルドバ大使館への 30 万円の送金をしました。今迄に、総額 3,600,000 円を送金させて頂きました。

【募金】

「ペシャワール会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」
「東北・関東大地震」「辺野古新基地建設反対」
各 500 円 6 月 14 日分
＊16 日（火）に、ペシャワール会に、60,000 円を送金しました。

ペシャワール会	0 円
アハリー・アラブ病院	19,000 円
東北・関東大地震	45,000 円
辺野古新基地建設反対	88,000 円
6 月 14 日現在	

【今週の十二使徒】

◇婆流戸呂舞（ばるとろまい）の柵 ◇ 馬鯛（またい）の柵

～明日への祈り～
「ほんとうの愛に生きる」の本のコピーを貰ったのを、今も時々読んでいます。深く考えても結論は出せない。17 歳で、大工の道に入り、大工道具のカンナ、ノミは、砥石で研いであげると、よく切れる。ノコは、ヤスリで目立てをしてあげる。正直なものです。人生もいばらの道ではなく、穏やかな道でありますよう祈ります。
（吉岡 正敏）

太陽光発電 2026 年 5 月 1 日～31 日 2168.61Kw.

太陽光発電 2026 年 6 月 1 日～20 日 928.61Kw.